

岩手県立磐井病院

研修先と恋に落ちる・・・なんていってられない！

賢いあなたへ病院選びQ & A

賢い人が求める

程良い忙しさって？

賢い人が考える

外来・病棟でしっかり
経験できるメリットは？

賢い人が知りたい

救急力強化の具体策は？

賢い人が目指す

スキルアップって？

みんなが気になる

交通アクセスが
良いメリットは？

まずは見学に！



岩手県立磐井病院 病院見学のお誘い

- ・ 交通費支給
- ・ 宿泊場所あり
- ・ アメニティ完備
- ・ 昼食付き
- ・ デイナーへご招待



- 交通のご案内
- お車・・・東北自動車道一関ICから約7km
 - JR・・・東北本線及び東北新幹線一ノ関駅下車
西口より直通バスあり。
【東京駅→一ノ関駅】約1時間58分(最速)
【盛岡駅→一ノ関駅】約40分
【仙台駅→一ノ関駅】約30分
 - 飛行機
【札幌→花巻】約1時間
【大阪→仙台】約1時間20分
【名古屋→仙台】約1時間
【福岡→仙台】約1時間50分

お問い合わせ 磐井病院臨床研修センター
TEL 0191-23-3452 MAIL iwaihp@yahoo.co.jp
<http://www/iwai-hp.com/>

食道胃腸外科長 上村 卓嗣

こたえは裏面へ



磐井病院の研修医と卒業した先輩たちが
リアルな現状をお伝えします！

Q:程よい忙しさって？

A: **意見**に個人差はあると思いますが、初期研修2年間の忙しさは、その後の医師人生の中でもかなり重要な位置付けになると思います。何でも教えてもらえる、何でも気軽に聞けるのは初期研修の特権だと思いますし、その特権を持つ間にどれだけの経験をしたかが、その後に大きく関わってくるように思います。**専門**を決めて進んでしまうと経験も偏りますし、専門以外の知識経過を積むのはこの2年間だけになるのかなと。もちろん楽な方がいいとか、休みがたくさんもらえるところがいいとか最初は誰もかと思うと思いますが、長い目で見れば、最初の2年間くらい忙しく働くことがその後にも繋がるのかもと、初期研修を終えてみて思います。もちろん休日も考慮して与えてもらえますし、働く日は最前線で働くことができます。自分の今後のためにも、いい意味で忙しく働ける研修病院を選んで良かったと思います。(後期研修医K)

Q:救急・外来・病棟を経験できるメリットは？

A: **病棟**管理はどの病院でも当たり前ですが、当院の初期研修では外来診療研修も充実しています。新患者問診・救急対応などを経験できる病院は多いですが、当院ではその後の検査計画・再来外来も担当できる診療科があります。再来までフォローを任せてもらえる病院はそこまで多くない気がします。診察室の前に自分のネームプレートが掲げられ、かなり緊張感がありますが、医者としての充実感をもって診療できます。**実際**、外来研修は不足している研修病院が多く、3年次になりいきなり外来を任せられ困惑しながら診療にあたっているという話を良く聞きます。当院は初期研修時からその基礎を学ぶことが出来る貴重な病院だと思います。**病棟**も外来も検査・治療もあり、救急外来にも呼ばれ、1日病院を駆け回ることになりますが、充実した毎日です。(後期研修医S)

Q:スキルアップって？

A: **研修**医になりたての時は、どんな患者さんに向かって何をしてよいかわからないと思います。冷や汗をかきながら持っている知識をフル活用して考え、できるところまで自分で診ていく。上級の先生にフィードバックしてもらい学び、次へ生かしていくという積み重ねが力になっていると2年目に入り実感しています。そういった点において、やはり、いい意味で真っ白な初期研修のうちに体を動かして経験させてくれる当院の研修は魅力的だと思います。まずは見学にきてください。(2年次研修医S)

Q:救急科強化の具体策は？

A: **まだ**一年目ですが研修を始めて感じたことは、救急力をあげるためには、まずは多くの患者を診ること。そして、診た患者をフォローしていくことだと思います。救急の現場では時間的な制約もあり初期対応後、入院先の科が決まると、その後どうなったかわからないことが多くなりがちです。**フォロー**していくことで、初期対応時の答え合わせができます。また、当院は上級医もフランクな先生が多いので、医局等で合った際に、救急で診た患者のアドバイスしてくれる先生方が多いのが特徴です。(1年次研修医H)

Q:救急科強化の具体策は？

A: **当院**には救急医療科があり、現在上級医には循環器内科、呼吸器科、麻酔科の先生方がおり肺炎や心不全といった内科疾患の管理を学ぶことができる上、薬物中毒などの全身管理も学ぶことができます。病態不明の症例なども救急医療科で診ているため多彩な症例が経験できます。**基本的**に研修医が初診にあたり、上級医に治療方針について相談する体制なので実際に症例を体験しつつ学べます。**研修**医の人数も多くないので基本的には研修医が1人で回ることが多く、自分が診ざるをえない状況の事が多いので体で覚えることができます。救急医療科を回ると普段の当直にも自信がつくと思います。(2年次研修医N)

Q:交通アクセスが良いメリットは？

A: **磐井**病院のある一関市には新幹線も高速道路も通っていて、病院は駅からインターからも近く、とても田舎にしているような感じがしません。**ある**休日、東京のイベントに行く予定でしたが寝坊して「ごめん！今起きた！」と東京の友達にラインを送った2時間後に、東京の会場に姿を見せた時は驚かれました(笑)東京まで最速1時間58分！また、東北は各地に名勝地が点在していますが、高速道路を使えば早くて楽しい旅の始まりです。**今年**の春は弘前城の桜祭りと福島の見春滝桜を見に行ってきました！それから、磐井病院の駐車場がタダっていうところもうれしいところです。(2年次研修医U)

Q:救急・外来・病棟を経験できるメリットは？

A: **まず**最初に、一般外来、病棟に研修医があまり関わらない病院もたくさんあります。その中で当院では新患外来等も積極的に研修医に経験させてくれます。一般外来では最低限のコミュニケーション問診スキルをとことん養うことができます。また、病棟では担当医として、方針の考察(必要な検査から治療まで)まで責任感を持って行うことができます。**各科**の当番では夜間、病棟で起きた問題に対して研修医が一番呼ばれ、頭を悩ませながら対処します。もちろんバックには上級の先生が控えているので、いつでも気軽に相談しながら進めることができます。**病棟**管理は将来どの専門家に進んでも必要となるスキルの一つです。バックアップがしっかりしている今だからこそ、しっかり身につけるチャンスだと思います。(2年次研修医M)

Q:救急科強化の具体策は？

A: **1年次**研修医の始めの頃は、患者さんを前に何をすればよいかわからず固まることも多かったです。各科をローテートする毎に1つ1つの病気に対する初療を学び、日当直へ還元していきました。**日**当直と各科ローテートの双方向のフィードバックにより、初療が身につき、その後の流れも理解することができると思います。**当直**後はそのままにせず、その後の経過を電子カルテで追うと、上級医の治療方針もわかり勉強になります。また、医局でも先生方が身近にいるので、振り返って気になることがあれば聞くようにしています。また、毎週月曜に行っている救急症例検討会では気になる症例について討論します。お互いに意見を交わしながら、上級医の先生方からのアドバイスも頂き自信がついていきます。(2年次研修医T)